

小樽商科大学
夜間主コース

紹
紹

介

本

ゼ

ミ

ナ

ール

ル

2017

目次

『夜間主コース ゼミナール紹介本』2017

研究指導履修上の注意事項	p.3
夜間主コース研究指導募集手続	p.4
経済学科（柴山ゼミナール）	p.6
商学科（林ゼミナール）	p.7
企業法学科（小倉ゼミナール）	p.8
社会情報学科（佐山ゼミナール）	pp.9-10
言語センター（羽村ゼミナール）	p.12
ゼミ配置図	p.14

○掲載内容について

本冊子は、教務課学部教務係とゼミナール協議会が分担して編集作業を担当致しました。

- ・ 研究指導募集要項に関する事項：教務課学部教務係（gakubu@office.otaru-uc.ac.jp）
- ・ ゼミナール紹介白書：ゼミナール協議会（shodaijichikai@gmail.com）

本冊子に原稿をお寄せ下さった全ての方々に、心より感謝申し上げます。

本冊子のレイアウトに関わる作業は、昼間部学生委自治会事務局が行いました。

表紙デザイン担当：山内梨瑛（学生自治会事務局／田中ゼミ）

夜間主コース研究指導（ゼミナール）履修上の注意事項

教 務 課

1. 夜間主コース研究指導は原則として必修科目とし、原則として自学科科目あるいは専門共通科目の研究指導を履修するものとする。
2. 3年次への進級要件を満たせなかった場合、ゼミの内定を受けたとしてもゼミに所属することができないので注意すること。
3. 研究指導の履修期間は、学期単位（前期、後期でそれぞれ1学期）で扱い、単位（12単位）を修得するためには4学期（合計2年間）を履修しなければならない（原則は3、4年次の2年間継続履修である）。
4. 研究指導は原則必修としているが、ノンゼミを志望する学生は、学科長宛に申し出るものとし、学科長において例外的措置として承認が得られた場合のみ、ノンゼミを認めることとする。ノンゼミを認められた学生は、自学科の学科科目について所定の単位の他、ゼミ相当分の12単位を、更に履修しなければならない。
5. ゼミ所属の変更は、非常に難しいので慎重に選択すること。なお、万一変更の必要が生じた場合はただちに教務課学部教務係まで申し出ること。
6. ゼミの無断欠席が続くと除名される場合があるので注意すること。
7. 募集要項中で選考の方法等が未定になっている場合には、掲示等により通知するので十分に注意すること。

夜間主コース 研究指導募集手続

夜間主コースの学生は、以下に従い、必要手続きを行ってください。なお、夜間主コースの学生は、昼間コースのゼミに所属することはできません。募集手続は正しく守って行動するようにして下さい。

1. 研究指導オリエンテーション 【9月29日(木)】

時間：19時20分～19時50分

場所：213AL 教室

担当教員よりゼミ内容の紹介を行います。対象学生は必ず出席して下さい。

2. 第1次志望ゼミ申込期間 【10月25日(火)～10月31日(月)】

①アンケートフォーム (URL) より、所属を希望するゼミを、第1志望のみ登録する。(締切：10月31日(月)20時)。

※アンケートフォームのURLは、《大学HP→学生生活・就職→お知らせ》に掲載予定です。また、5ページ目下のQRコードからアクセスできます。

②申込期間中は、各ゼミの志望状況を適宜公表する。

③締切日までは、希望ゼミの変更を認める。変更希望者は、アンケートフォーム登録時に送信されたメールから修正を行うか、再度アンケートフォームに登録を行うこと。(登録が一番新しいものを、最終希望とみなします。)

3. 第1次選考期間 【11月7日(月)～11月17日(木)】

この期間中に、第1志望の申込をおこなった者を対象に選考するので、対象となる者は、各教員の募集要項の指示に従って面接等を受けること。

4. 第1次選考結果発表及び第2次募集告知期間【11月7日(月)～11月24日(木)】

この期間中に、各教員から選考結果が適宜発表される。内定者の発表、第2次募集の有無については、掲示等でおこなう。

第2次募集については、新たに希望ゼミを登録する必要はありません。

5. 第2次選考期間及び第2次選考結果発表【11月25日(金)～12月19日(月)】

この期間中に、第1次選考でゼミの内定を得られなかった学生は、各教員が指定した選考日時・場所で適宜選考を受けること。

第2次募集については、重複して選考を受けることを認めている。

この期間中に、各教員から選考結果が適宜発表される。内定者の発表、第3次募集の有無については、掲示等でおこなう。

なお、内定が重複した場合は、速やかに内定を辞退する教員にその旨申し出ること。

6. 内定者発表 【12月22日(木)】

教務課学部教務係より各ゼミの最終的な内定者を掲示する。

7. 最終活動期間 【12月23日(金)～3月末日】

研究指導は原則として必修なので、選考期間中にゼミ所属が決定しなかった学生は内定活動を継続すること。該当者は呼び出しを受ける場合があるので、掲示には十分注意すること。

備 考

■ノンゼミを希望する場合は、原則として11月30日(水)までに所属学科の学科長あての所定の申請用紙(教務課学部教務係にて配布)により申し出、承認を受けること。

ただし、ノンゼミは自動的に認めることではなく、例外的措置として認められる場合に限られるので注意すること。

■第1次選考で落選したものは、教員に直接連絡をとり、選考を依頼するなど積極的に行動することを勧める。



アンケートフォームはこちらからアクセスできます。↑

教員名 柴山 千里（経済学科）

1. 研究主題

- 1.2015年環太平洋パートナーシップ協定（TPP）が大筋合意され、批准に向けて各国が手続きを進めています。また、日本政府は自由貿易協定（FTA）締結をさらに進めて行く予定です。一方、北海道ではTPPやFTA締結に関しては反対の姿勢を示す人たちが多いのが現状です。TPPやFTAは望ましいのかそうでないのか、貿易自由化が何をもたらすのかについて、学んでいきます。
2. 昼間のゼミの時は、他の3ゼミと年に4回ディベート大会を行っています。参加したい学生が5人以上いましたら（ただしディベート大会は昼の時間に開催）、柴山ゼミとして引き続きディベート大会に参加する予定です。

2. 指導要領

1. レポーター方式で課題図書を報告して貰い、みんなで議論し、理解を深めます。
2. 希望者が5名以上いれば、ゼミ対抗ディベート大会に参加します。

3. 指導テキスト及び参考書

阿部顕三『貿易自由化の理念と現実』NTT出版、2015年

4. 選考の方法（面接・テスト等）

志望理由書と面接で選考します。

志望理由書は柴山のゼミHP (<http://www.otaru-uc.ac.jp/~chisato/seminar.home.html>) よりダウンロードして記述した後、「柴山ゼミ応募」というタイトルをつけて添付ファイルで柴山のメールアドレス (chisato@res.otaru-uc.ac.jp) あてに **11月2日(水) 17時**までに添付ファイルで送付して下さい。その後、柴山からの申込み受領のメールアドレスを確認して下さい。

5. 面接・テスト等の日時・場所

日時は、**11月9日(水) 10日(木) 11日(金) 6講目**を充てます。都合の悪い日時がありましたら、志望理由書に書いて下さい。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

1. **年4回を超えて欠席した学生は、退ゼミ**になりますのでご了承下さい（留学で長期欠席の場合には事前に要相談）。欠席の場合には、私に連絡して了承を得て下さい。レポーターで欠席する場合には、他の学生と交代する措置をとって下さい。また、遅刻厳禁です。
2. 夜間主はオープンゼミ不要とありますが、興味があったら木曜日 14時半から 213AL 教室でゼミをやっているの、見学に来て下さい。
3. ディベート大会はどんなものか知りたい場合は、10月下旬に開催予定なので見学に来て下さい。詳細はゼミ募集の掲示板に掲載しますので、注意して見て下さい。

教員名 林 松国 (商学科)

1. 研究主題

中小企業が主な研究の対象となります。日本の中小企業は全企業数の99%以上、従業員数の約70%を占めており、中小企業は日本経済の活力の源泉です。また、一口に中小企業と言っても、そこには家族で経営する個人商店、長寿型老舗企業、ベンチャー企業、グローバルニッチトップ企業など、その規模・態様は実に様々です。本ゼミでは多種多様な中小企業の本質を分析するために、競争戦略、イノベーション、企業間取引関係、の3つの視点から中小企業の発展性と問題性について理論的、実証的に研究します。

また、本ゼミは主に日本の中小企業を研究するが、そのために大企業との比較研究も学習内容の一部であり、また、東アジア中小企業との比較研究も視野に入れていきます。

2. 指導要領

3年次の前期において、イノベーションや中小企業理論に関するテキストと参考書について輪読します。輪読は指定された文献を事前に読み、ゼミの場で報告と討論をする方法で行います。討論には積極的に参加することが求められます。3年次の後期では、グループを分けて、興味のある研究テーマを探して研究報告を行います。

4年次は、各自の興味・関心に応じて研究テーマを設定し、研究報告・討論を順次に積み重ね、卒業論文を作成していきます。

3. 指導テキスト及び参考書

テキスト：植田浩史等『中小企業・ベンチャー企業論』（新版）

渡辺幸男・小川正博・黒瀬直宏・向山雅夫『21世紀中小企業論』有斐閣アルマ

近能善範・高井文子『イノベーション・マネジメント』新世社

港徹雄『日本のものづくり競争力基盤の変遷』日本経済新聞出版社

参考書：『中小企業白書』各年

4. 選考の方法（面接・テスト等）

志望理由書と面接によって選考します。志望理由書（様式・枚数は自由）は、**10月31日（月）20時までに**メールに添付して、linsonguo@res.otaru-uc.jp に送って下さい。

5. 面接の日時・場所

追って掲示板にて連絡します。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

中小企業のみならず、日本経済の強みであるものづくり企業に興味を持つ学生を広く募集します。また、日本企業だけでなく、東アジア企業に興味のある学生も歓迎します。

教員名 小倉 一志 (企業法学科)

1. 研究主題

憲法学の基本的な論点に関する学説・判例を学修します。

2. 指導要領

ゼミの進め方は、開講時に学生と相談して決めますが、現在のところ次のように考えています。

- ①参加メンバーを2、3人単位でグルーピングする。各グループは与えられたテーマについて学説・判例の調査・資料収集を行い、レジュメを作成し、発表を行う。
- ②その発表を基に、質疑応答を行う。特に、発表を担当しない側のグループは積極的に質問することが求められる。当然、教員も質疑応答に参加する。

3. 指導テキスト及び参考書

芦部信喜(高橋和之補訂)『憲法〔第6版〕(岩波書店・2015年)・六法は、毎週、必ず持参すること(「手ぶら」で来てても出席とは見なされないので注意すること)。それ以外のテキストを追加購入してもらうか否かについては、開講時に学生と相談して決定します。

4. 選考の方法(面接・テスト等)

「面接」および学生各自が作成した「志望理由書」などにより選考する予定です。「志望理由書」は電子メール(word形式で作成した文書ファイルをメールで添付する方式)で提出してください(e-mail: ogura@res.otaru-uc.jp)(締切: 10月31日(月曜日)20時)。

「志望理由書」には、①なぜこのゼミを選択したのか、②このゼミでどのような勉強をしたいのか、③卒業論文で扱ってみたいテーマ(可能であれば、その内容も)などを書いて下さい(その他、①②③以外の内容を自由に追加して構いません)。最低800字は書くこと。

5. 面接・テスト等の日時・場所

面接の日時・場所については、追って連絡します(メールチェックを怠りなく)。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

- ・ゼミの性質上、毎回出席することが成績評価の前提となります(正当な理由のない欠席は認めません)。その上で、ゼミにおける発言・報告内容などにより総合的に評価します。
- ・受入予定人数は10人程度を考えています。
- ・学生同士が自由かつ活発に議論できるゼミになればいいなと思っています。

7. オープンゼミの日時・場所(予定)

夜間主コースのゼミですので、オープンゼミは予定しておりません。ここ数年、連続して夜間主ゼミを担当していますので、ゼミの雰囲気を知りたい方は、先輩達に聞いてみてください。

教員名 佐山 公一（社会情報学科）

1. 研究主題

人間の認知過程（情報処理過程）のしくみを調べる。実験室実験や社会調査をおこない、情報処理過程のモデル化をおこなう。グローバル化や Web の発展に伴い、コミュニケーションが急激に変化してきている。たとえば、ツイッターはその場で起きた出来事を不特定多数の人に即時に発信できるが、過去にこのような情報伝達手段は存在しなかった。佐山ゼミでは、新たに生まれたコミュニケーションのしくみを調べる。次の4つのテーマで研究を行う。

- 言語の理解：Web 上の文章や広告を人がどのように理解しているか？ツイッターやフェイスブックなどを介した Web 上でのコミュニケーションと現実のそれとはどこが違うか？
- 顔の認知：人が相手の顔から性別、人種、民族、職業、年齢、魅力、個性、性格、感情などを読み取ろうとするとき、読み取ろうとする本人の情報がどのように影響するか？
- 国、地域、都市のブランドイメージ：海外の観光客が Web やガイドブックなどを使って、訪日前に、日本、北海道、小樽、札幌のイメージをどのようにつくっているか？そうしたイメージは、訪問後にどのように変わるか？
- 大学生の就職活動：うまく就職活動のできる大学生はどのように自分に自信を持っているか？親の考え方や仕事は大学生の就職活動にどのような影響を与えるか？

2. 指導要領

3 年次：

- (1) 言語、顔、ブランドイメージなどの認知過程の基礎的な知識を身につける。認知心理学の教科書を輪読した後、最新の研究論文を輪読する。発表者は発表内容をパワーポイントファイルにまとめてくる。この過程を通じて、自分の興味に従い、研究すべき卒業論文のテーマを決める。
- (2) 模擬実験を体験する。有名な心理現象に関する実験を、できあいの実験プログラムを使っておこなう。実験のやり方を練習する。
- (3) 模擬実験の結果を分析し発表する。実験データの分析のやり方を練習する。データの分析は、統計解析ソフト（SAS, Amos）を使っておこなう。発表者は発表内容をパワーポイントファイルにまとめてくる。
 - (1)～(3)を繰り返す。

(4), (5) は不定期に行う。

- (4) 過去の佐山ゼミ卒業生の卒論を教員が紹介する。
- (5) 卒論に書く実験のテーマと実験の計画を発表する。

4 年次：

- (1) 自分で考えたテーマに関する実験をおこなう準備をする。
- (2) テーマと関係のある文献の輪読をする。
- (3) 毎回発表者を決め、卒論の途中経過報告をおこない、お互いに議論しあう。
 - (1)～(3)を繰り返す。
- (4) 実際に実験をおこない、データを分析し、卒論にまとめる。

3. 指導テキスト及び参考書

輪読する日本語の教科書：認知心理学に関する教科書であれば、何でもよい。

輪読する研究論文：その都度配布する。

参考書：●西本・林共編『認知心理学ワークショップ』早稲田大学出版部 ●J. R. アンダーソン『認知心理学概論』誠信書房 ●戸田・阿部・桃内・往住『認知科学入門』サイエンス社

4. 選考の方法（面接・テスト等）

- (1) 社会情報学科の学生を最優先して選考します。11/8（火）17時までに志望理由書を提出してください。おおよそ志望理由書によって決めますので、詳しく正確に書いてください。佐山研究室（4号館352室）ドアのレポートボックスに入れてください。志望理由書をみて書類選考します。
- (2) 候補者に対し面接をおこない最終決定します。

レポートには次の項目を書いてください。

- (1) ゼミに入って何を研究したいか？佐山ゼミの研究テーマの中で、どのテーマにどのように興味を持っているか？
- (2) ふだん何に時間を使っているか？どのようなサークル・クラブ等に入ってどんなことをしているか？また、どのようなアルバイトをしているか？
- (3) 自分の趣味、性格、特技など。
- (4) その他書きたいこと。

5. 面接・テスト等の日時・場所

11/9(水)17時に、候補者リストと面接の日時を <http://www.kohichi.net/> 佐山ゼミ / と佐山研究室(4号館352)のドア横に掲示します。面接は11/10(木)13時からおこなう予定です。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

言葉の理解、顔の認知、ブランドイメージに興味を持っている人、とくに、将来、人間の情報処理の研究者になってやろうという人を歓迎します。不明な点があれば sayama @ res.otaru-uc.ac.jp までメール下さい。

7. オープンゼミの日時・場所（予定）

10/6（木）、10/13（木）、10/20（木）、いずれも4講目、415（佐山）ゼミ室で行います。

ゼミ紹介白書

ゼミ紹介白書

< 佐山 ゼミ >

開講日時	木曜日 14:30 ~ 16:00
在籍人数(3年生)	4 人
男女比(3年生)	1 : 0
ゼミ室	3号館 4階 415室
ゼミの鬼仏表	仏 ・ 普通 ・ 鬼

Q. 先生はどんな人？

出身地：東京の田舎
趣味：水泳、空手
娘(8)に遊ばれている…。

仏のような
お方です！



円山
いこうよ

< 2016年度年間スケジュール >

<ゼミの日常>

12~3	(前年度)
4	模擬実験, テキスト輪読
5	↓
6	
7	
8	夏のゼミ, 夏の行事
9	
10	卒論資料の発表
11	↓
12	
1	↓
2	卒論発表会(4年)
3	↓

教科書の輪読, 担当に当たった人がその内容を発表します。

隔週で実験を行い, その分析を行います。

<卒業生の進路>

銀行からメーカー, 中堅から大企業まで、様々な民間会社に就職しています。

公務員はこれまでに十数人ほっています。地方自治体職員が多いです。

<自由記入欄>

佐山ゼミって何のゼミ？

そうです！心理学のゼミです！例えば、目の前に「赤くて、甘くて、皮がある果実」が置いてあるとします。あなたはそれを「りんご」として想像しましたか？

なぜ「りんご」を思い浮かべたのでしょうか？ 佐山ゼミではこういった

認知心理学を学んでいます！

(今年はたまたま男子だけでしたが、例年は女子もいますよ！)

教員名 羽村 貴史（言語センター）

1. 研究主題

英文学と文化批評を中心に学ぶことで、人種、ジェンダー、階級等の政治的な視座から、もろもろのテキストを文学的に分析し批評する訓練を行います。表面上の物語内容や可視的な文化事象にかぎらず、テキストの深層構造をも読み解けるようになるよう、楽しみながら一所懸命に取り組んでほしいと思います。哲学、文学、歴史学など、人文学分野に強く関心があり、とりわけ文学作品を読むのが大好きな人を歓迎いたします。

2. 指導要領

英文学の研究では、短篇の詩と小説を中心に、英語原典の講読とテキスト分析を行います。また、文化批評の研究では、和英両語で論文の講読と内容吟味を行います。初心者でも愉しく学べるテキストを厳選し、丁寧に指導しますから、かぎられた時間で最大限の成果をあげられるよう、きちんと学習してください。

3. 指導テキスト及び参考書

後日指定。

4. 選考の方法（面接・テスト等）

志望理由書および面接。

5. 面接・テスト等の日時・場所

- 11月7日（月）、夕方5時30分、ゼミ室（202室）に集合。都合の悪い人は個別に面接します。
- 面接当日の正午までに、志望理由書1枚を電子メールで送付してください（hamura@res.otaru-uc.ac.jp）。興味関心のある分野を中心に述べてもらえたら参考になります。

6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

- 当ゼミでは、4年次に卒業論文の履修と執筆を義務づけます。英文学研究のほか、表象文化論（映画、写真、絵画、漫画、音楽、スポーツ等）、日本文学研究（近現代のみ）、性文化論、民族文化論、歴史認識論、宗教学など、羽村に理解できる範囲であれば、学術的であるかぎり何を研究主題に選んでもかまいません。
- 前もって個別に相談・質問したい場合はメールをください。

ゼミ紹介白書


ゼミ紹介白書

< 羽村 ⇄ ゼミ >

開講日時	果年は夜間なので、開講日時は 未定です! 木曜日 14:30 ~ 17:00 ^{ぐらい}
在籍人数(3年生)	7人
男女比(3年生)	3:4
ゼミ室	202 情報処理センター目の前!
ゼミの鬼仏表	仏・普通・鬼

Q. 先生はどんな人?

(ほんわかして優しい紳士)
 お酒が大好き!
 インドア派!
 たまに
 ハブライ語を使う



< 2016年度年間スケジュール >

12~3	(前年度)
4	ゼミ
5	↓
6	
7	
8	
9	ゼミ ↓
10	↓
11	
12	
1	
2	
3	

<ゼミの日常>

いろいろ
 英語の詩、短編小説、
 日本語の論文、詩などを読んでます!
 文学してます!

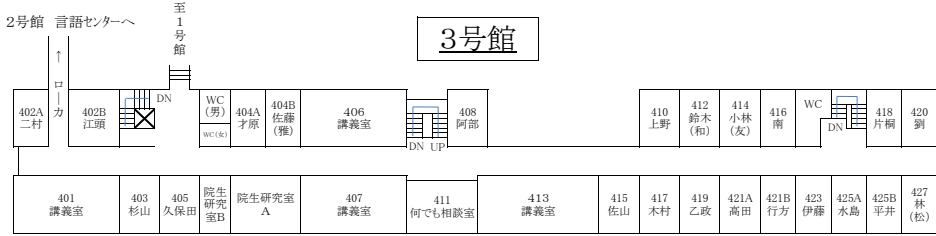
<卒業生の進路>

いろいろ
 公務員、民間企業、教員、進学など

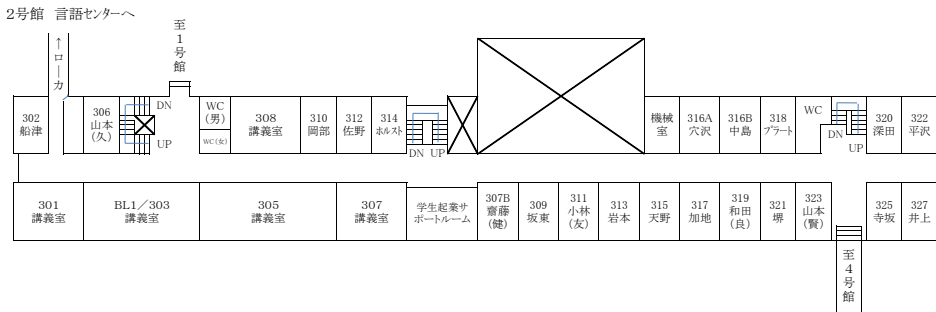
<自由記入欄>

考えること、本を読むことが好きな人はオススメぞす!

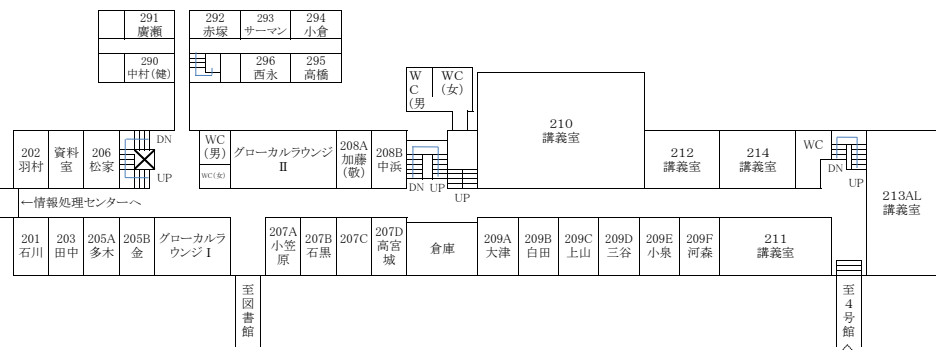
平成28年度 講義室・ゼミ室配置図



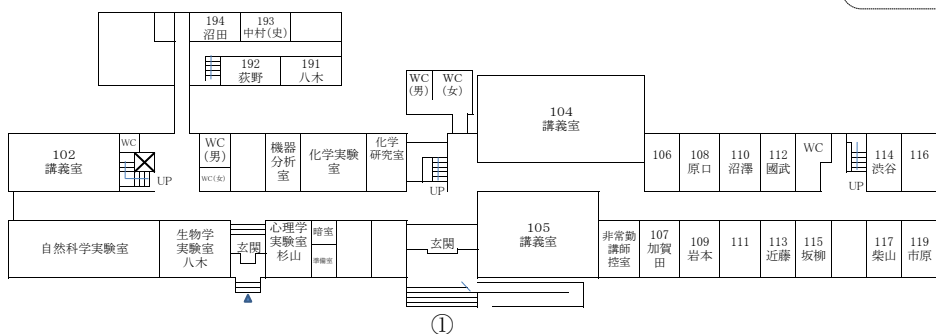
4階



3階

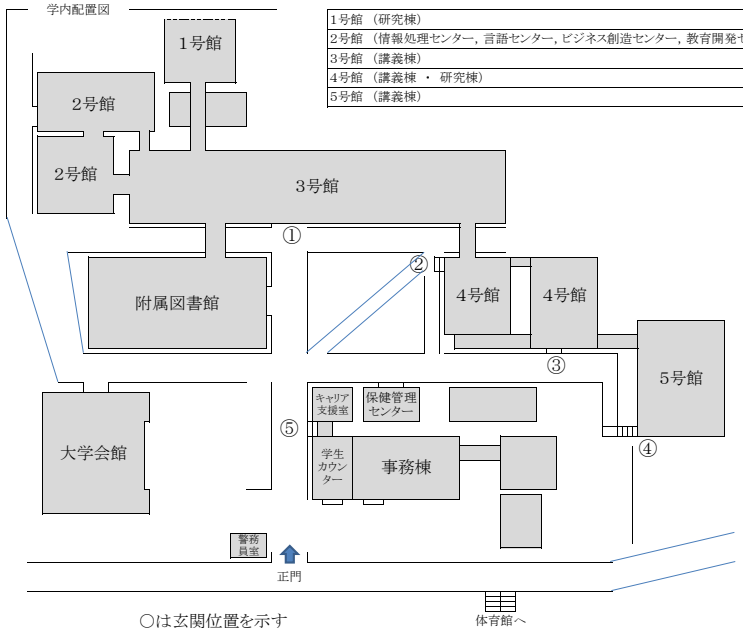


2階

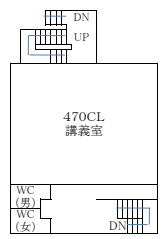


1階

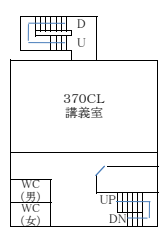
学内配置図



5号館

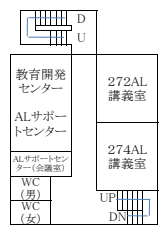
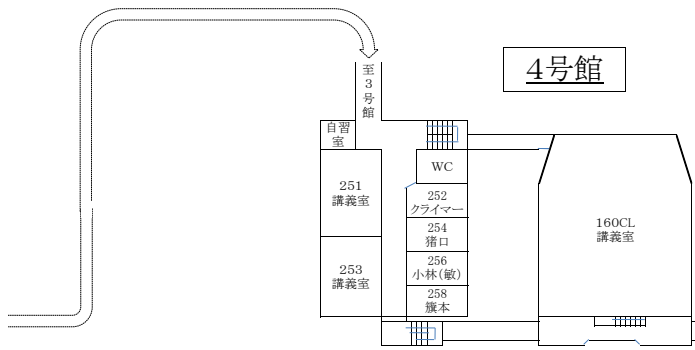


4階



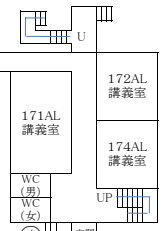
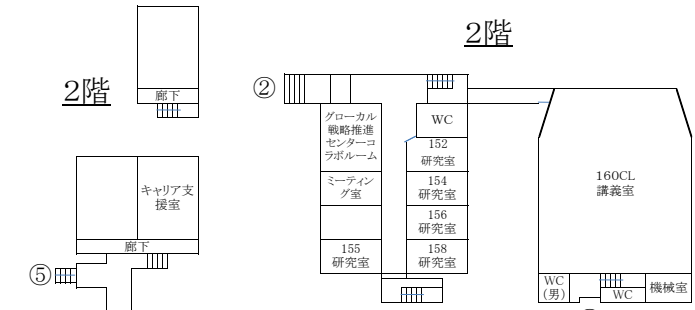
3階

4号館



2階

2階



1階



『夜間主コース・ゼミナール紹介本』2017

発行日：平成 28 年 9 月 25 日

編集者：山内 梨瑛

発行者：小林 朝陽

発行所：小樽商科大学学生自治会事務局

〒 047-8501 小樽市緑 3 丁目 5 番 21 号

小樽商科大学 大学会館 2F 自治会室（内線：6550）

許可なく本書の一部または全部を複製することを禁ず。